令和８年度
神楽公民館地域フォーラム開催結果

公民館地域フォーラムとは

地域や利用者の皆様に、公民館活動への理解を深めていただくこと、また、皆様の御意見、御要望を公民館運営に生かすことを目的に、話し合い、共に考える意見交換会です。

令和８年度神楽公民館地域フォーラムの概要

【開催日時等】

日　時　　令和８年１０月２４日（土）１３時００分～１４時３０分

場　所　　神楽公民館　第３学習室

参加者　　１７名（高校生～成人）

【フォーラムの進め方】

神楽公民館長進行により、以下の２部制で実施しました。

＜第１部＞　神楽公民館の事業説明

当館に登録し活動している生涯学習活動団体の紹介や各種事業活動の実施状況を館長が説明しました。

＜第２部＞　公民館事業及び地域の課題等についての意見交換

公民館のあり方、事業運営、日常感じている地域の課題等について意見交換をしました。

意見交換の概要

◆日頃公民館を利用している理由について

・子供のころから学ぶことや自分の知らないことを知ることが好きで、色々なことを学ぶために公民館を利用している。
・公民館で様々な人と会うのが楽しい。ここでは人との交流が広がる。
・公民館に来ると自分の好きな世界がそこにあって、実際に参加してみると気持ちがわくわくする。
・現役の時の仕事の延長線上にあるような感覚で利用している。
・公民館を利用する人が中心となって公民館の使い方を決めていく『公の場』というイメージがある。これからも、自らの企画を実施する場として公民館を利用、活用していきたいし、多くの人がそのように公民館を活用してくれれば良いと思う。
・自分が好きだと思うことに出会える場所と感じ、公民館に来ている。

◆神楽公民館の印象や感想

・生涯学習の場、という印象が深い。様々なイベントも開催しているようなので、参加してみたい。
・神楽市民交流センターまつりでは、様々な団体や人と交流することができ、楽しかった。

◆若者が公民館を利用するきっかけづくり

～どうしたら若者が気軽に利用できる施設となれるだろうか？

・幼い頃は親に連れられて公民館に来ていたが、その後は公民館に来ていない。
・公民館の事業は、小学生以下の子供を対象とした事業が多く、高校生や若者が参加したいと思う事業が少ない。
・サークル体験など、気軽に挑戦できる体験会を活用すると良い。神楽市民交流センターまつりで食べたそば打ちサークルの打った蕎麦が美味しく、自分も蕎麦を打ってみたいと思った。
・自分が所属する高校の生徒を対象としたアンケートにおいて、SNS を見ている時に出てくる位置情報を利用した「地域ターゲティング広告」にて、地元企業の情報等を目にしたことがある者は 80%いた。若者に対して非常に広報力が高いと思った。
・同じアンケート調査結果において、SNS と一言で言っても、種類によって利用格差が大きかった。８割が使っている SNS と全く利用されていないものとがあることが分かった。
・季節に合わせたイベントで、乳幼児、学童向けのものだけではなく、若者や大人向けのイベントがあれば参加しやすい。

◆地域の課題について

・ご近所のお付き合いはとても大事であると、年齢を重ねるととても思う。
・地域の活動をするに当たり、個人情報保護への意識が強すぎて、時に何もできなくなってしまうことがある。
・挨拶することさえ迷惑がられ、地域コミュニティのつながりがとても薄れていると感じる。
・小学生の時に道ばたで出会った人に挨拶すると挨拶が返ってきたが、高校生になって同じように挨拶すると、怪訝な顔をされた。
・挨拶は人としてとても大事なことだと思っているし、働いていたときは特に大事にしていた。しかし最近、とてもおろそかになっている気がする。是非、大切にしていってほしい。
・旭川は自然が多く、人口も適度な規模で住みやすい。
・人気の旭山動物園があり、各種施設も豊富である。病院の数も多く助かる。
・街路樹が奇麗で気に入っているが、地域でその落ち葉が問題となり、街路樹に対する意見が分かれている。
・通学にバスを利用しているが運行本数が少なくなり、１台当たりの乗客がとても多く、乗っていてとても疲れる。乗客マナーも気になる。



貴重な御意見、御提言をいただき、誠にありがとうございました。

いただいた御意見等につきましては、今後の神楽公民館の運営や事業活動に反映させるよう努めてまいります。

今後とも、神楽公民館の運営等に御理解と御協力を賜り、当公民館を御利用くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

フォーラムの様子